

瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター
琵琶湖水質担当
昭和57年8月9日 第18報

植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(藍) <i>Aphanothece clathrata</i> *	20		
(藍) <i>Oscillatoria</i> sp.*	20		
(黄鞭) <i>Chrysosphaerella</i> sp.	200		
(珪) <i>Melosira granulata</i>	260		
(珪) <i>Melosira granulata</i> var. <i>angustissima</i>	160		
(珪) <i>Nitzschia acicularis</i>	20		
(珪) <i>Nitzschia</i> sp.	20		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	160		
(緑) <i>Chlamydomonas</i> sp.	120		
(緑) <i>Micractinium pusillum</i>	320	○	
(緑) <i>Oocystis</i> sp.	20		
(緑) <i>Selenastrum</i> sp.	80		
(緑) <i>Pediastrum biwae</i>	2560	◎	○
(緑) <i>Actinastrum hantzschii</i>	320	○	
(緑) <i>Closterium aciculare</i> var. <i>subpronum</i>	20		
(緑) <i>Closterium</i> sp.	20		
(緑) <i>Staurastrum dorsidentiferum</i> var. <i>ornatum</i>	160		◎
(他) その他の植物プランクトン	320	○	
(藍) 藍藻綱	40	0.8	2.9
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	200	4.2	0.1
(珪) 珪藻綱	460	9.6	4.8
(渦) 渦鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	160	3.3	3.0
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	3620	75.4	89.1
(他) その他のプランクトン	320	6.7	0.0
総細胞数	4800	総体積	9.17E+06
種類数	18	(μm^3)	

注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)

ただし * 印の種は群体数(群体/ml)

注2) 優占種は◎が第1優占種、○が第2優占種
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)

注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。

植物プランクトン優占種

第1優占種		細胞数 (細胞数/ml)
緑藻綱	<i>Pediastrum biwae</i>	2560

第2優占種		細胞数 (細胞数/ml)
緑藻綱	<i>Micractinium pusillum</i>	320

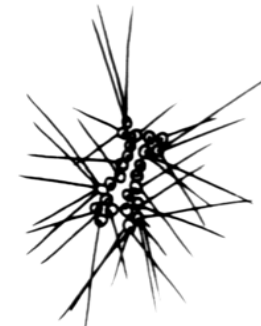
植物プランクトン第1優占種



Pediastrum biwae
(ピワクンショウモ)
緑藻綱

16, 32, 64細胞からなる群体を形成する。各細胞は1本の角状突起を持ち、突起同士が対をなすのが特徴である。琵琶湖の固有種とされ、ピワクンショウモと呼ばれている。

植物プランクトン第2優占種



Micractinium pusillum
(ミクラクチニウム)
緑藻綱

細胞は球形または幅広い楕円形で、杯状の葉緑体と1ヶのピレノイドを有す。各細胞は数本の細長い突起を持ち、群体をなす。